

イベント名	献茶式
日時・天気	5月9日(土)午前11時～ 小雨のち曇り
場所	高山寺開山堂
主体	三山住職等(神護寺:谷内弘照住職, 西明寺:高岡義寛住職, 高山寺:田村裕行執事)
内容	三山の住職等が一堂に会し, 茶祖明恵上人に感謝の意を表す献茶式を執り行った。
参加者数	約30名



今回のイベントに協力いただいた大学茶道部の方々の参加もあった。

終了後は、田村執事が石水院で高山寺の歴史等を説明するとともに、書院にて茶席を設けた。



平成27年5月10日(日)京都新聞朝刊1面に掲載いただいた。

高雄地域とお茶の関わりを幅広い方に知っていただく大変良い機会となった。

イベント名	右京区ゆかりの大学茶道部茶会 (京都学園大学は邦楽部との合同開催)
日時・天気	5月9日(土)午前10時～午後3時 小雨のち曇り 5月16日(土)午前10時～午後3時 小雨 5月23日(土)午前10時～午後3時 晴れ
場所	高雄橋野点会場 ※16日は雨天のため、高雄観光ホテル棧敷にて
主体	京都学園大学茶道部・邦楽部(9日), 京都光華女子大学茶道部(16日), 京都嵯峨芸術大学茶道部(23日)
内容	高雄橋付近に野点会場を設け, 通り行く人に気軽に一服を楽しんでいただき, お茶を身近に感じていただいた。
参加者数	9日:33名, 16日:27名, 23日:50名



京都学園大学茶道部茶会の様子。海外の方にも抹茶を楽しんでいただいた。

最初は、飲み方が分からないためか遠慮がちな様子。学生の声掛けにより立ち寄っていただくことができた。



京都光華女子大学茶道部茶会の様子。この日は前日までの雨で野点会場の地面がぬかるんでいたため、急ぎよ高雄観光ホテルさんの棧敷をお借りした。保勝会さんの心遣いに感謝。



京都嵯峨芸術大学茶道部茶会。学生茶会の最終日。用意した主菓子50個は全て完売。



イベント名	高雄女・舞妓茶会
日時・天気	5月10日(日)午後1時30分～午後2時30分 晴れ 5月17日(日)午後1時30分～午後2時30分 晴れ
場所	高雄橋野点会場
主体	高雄女・舞妓
内容	高雄女(畑の姥)の恰好でお茶を点て、舞妓さんのお運びによりお茶を提供。
参加者数	10日:26名, 17日:34名



高雄女として親子で参加いただいた方もあった。地元の小・中学生がこうしたイベントに参加して地元の伝統行事などに感心を持ち、郷土愛を育む大変良い機会だった。高雄女と舞妓さんとの連携もばっちり。



参加いただいた方からは「新緑の青もみじの下、お茶を飲みながらのひとはすばらしい」とコメントいただきました。京都の魅力ある場所等を紹介するFacebookにも取り上げていただいた。

イベント名	お茶摘み見学
日時・天気	5月13日(水)午前10時～午後3時 晴れ
場所	高山寺及び西明寺の茶畑
主体	高山寺及び西明寺
内容	茶摘みの様子を見学いただいた。
参加者・見学者	カウントは行っていない。



高雄の三山で茶畑が存在する，高山寺及び西明寺で行われた茶摘み。
通常は茶畑の外からしか見学できないが，この日はお寺の御好意で見学の方も中に入らせていただいた。
見学に来られていた方からは，「茶摘みをされている方が丁寧に質問に答えていただき。めったにない機会での貴重な体験となった」とコメントをいただいた。

イベント名	ハイキング茶会×モンベル
日時・天気	5月16日(土)午前9時～午後3時 小雨のち曇り
場所	嵐山～清滝川沿い～神護寺
主体	株式会社モンベル
内容	(株)モンベルの協力により、ハイキングと清滝川沿いでの野点を楽しみ、その後、神護寺国宝多宝塔の見学を行った。
参加者数	8名



当日の出発はあいにくの小雨だったが、途中からは曇りに。その後は何とか最後まで持ちこたえた。京都一周トレイルの西山コースをハイキングし、清滝川を通り高雄地域へ。今後も連携が期待される。



(株)モンベルさんが販売する「野点セット」を用いて清滝川沿いで野点。このように気軽にお茶を楽しめるのもこの道具の魅力の一つ。参加者からは継続的な開催を希望する声を多くいただいた。

イベント名	千家十職大西清右衛門氏講演, 和太鼓演奏, ジュニア茶会
日時・天気	5月16日(土)午前10時～正午 小雨のち曇り
場所	神護寺境内及び書院並びに硯石亭
主体	千家十職釜師大西清右衛門氏, 高雄中学校和太鼓部, 高雄小中学校茶道部
内容	①千家の流れをくむ茶の湯の道具を代々制作されてきた千家十職の大西清右衛門氏による講演会。②高雄中学校和太鼓部による太鼓演奏。③高雄小中学校茶道部の子供たちによる茶会。
参加者数	講演:40名, 和太鼓演奏:約20名, ジュニア茶会:123名



定員の30名を上回る皆様に御参加いただいた。
参加者からは「歴史と伝統を感じた」とのコメント。普段絶対に見れない距離で釜を見れることに感嘆の声が上がっていた。



和太鼓部は、秋のライトアップ行事や高雄ハーフマラソンなどでも演奏を重ねている。完成度も高く、礼儀の正しさにも関心。手前は修学旅行に訪れていた中学生。学生同士の交流も生まれた。



大変多くのお客さんにお越しいただいた。地元の学生が地元のお店でお点前を披露。それを学生さんがいただく。茶道文化の裾野を広げる取組として機会を捉えた継続的な開催が期待される。

イベント名	西明寺青もみじ茶会・高山寺と明恵上人(高山寺の茶会)
日時・天気	5月17日(日)午前11時～, 午後2時～ 晴れ 5月24日(日)午前11時～, 午後2時～ 晴れ
場所	西明寺(17日)及び高山寺(24日)
主体	西明寺及び高山寺
内容	①新緑に囲まれた西明寺客殿で, 抹茶を楽しんでいただくとともに, 住職の講話を聞いていただいた。②高山寺田村執事から高山寺と明恵上人の説明をしていただいた後, 呈茶を楽しんでいただいた。
参加者数	17日:17名, 23日:36名



寺院でのお茶席は, 昨年度3月の三尾めぐりに引き続いての開催。お茶を楽しんでいただくことに加え, 住職や執事から寺院の沿革等のお話を聞ける貴重な機会。参加者からは歴史や文化を学べる大変ありがたい機会なので充実を求める声が多かった。

イベント名	茶会「新緑を喰らう」SIONE × 椿堂
日時・天気	5月24日(日)午前11時～, 午後0時～, 午後1時～, 午後2時～ 晴れ
場所	高雄橋野点会場
主体	SIONE, 椿堂茶舗
内容	移動式茶室を設営し, これまでにないお茶席で参加者をもてなした。
参加者数	25名



綿密な打合せを重ねられたのだと実感するお茶席。道具, 棚, 椅子などなど, 一つ一つにこだわりがあり, おもてなしの心が随所に表れていた。こうしたお茶席が茶の湯のファンを生むとともに, お茶の文化の裾野を広げていく取組には欠かせません。



参加者からは「時間が止まったかのような時間だった」とのコメント。演出のすばらしさが伝わってくる一言でした。